

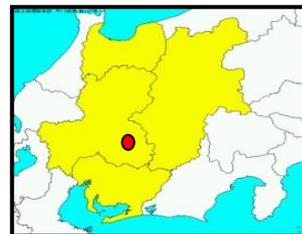
33 土岐地区はげ山復旧治山工事

岐阜県（土岐市、瑞浪市、多治見市）

はげ山→森林



治山工法



土岐市下石町地内
昭和29年当時の崩壊地に治山工事により森林が再生し、山麓には市街地が形成された。



○所在場所

岐阜県土岐市、瑞浪市、多治見市

○施設・工法の概要

溪間工、山腹工（石積工、積苗工、萱筋工藁伏工、張芝水路工、礫暗渠工、編柵工、播種積苗工、丸太積工、緑化工）

○解説

土岐地区はげ山復旧治山事業は、窯業の燃料として木材を伐採したことにより荒廃した森林を復活させようと、大正8年（1919年）に県と土岐市が治山事業を開始し、昭和7年（1932年）に農林省山林局直轄事業として、瑞浪市や多治見市も含めた施行区域で、当時の失業者救済をかね始められました。昭和45年（1970年）1月までの間に実行された面積は約1,576ha、投入された労力は延べ約175万人を越えました。

日本三大荒廃地の一つとまでいわれた土岐のはげ山が、奇跡的に緑を回復し、現在は豊かな里山風景となっており、一部は「陶史の森」公園として、市民の憩いの森として親しまれています。